

平和学がわかるコーナー

推薦者	外国語学部 国際関係学科 大平 剛 先生		
ねらい	<p>東アジアや東南アジア、さらにはロシアと欧州の狭間で、国家間の緊張が高まっています。まるで冷戦期に舞い戻ったかのような状況です。領土や歴史認識をめぐるお互いを非難し合い、ナショナリズムを煽る政治家たち。マイノリティを攻撃する人たちによって度を増すとげとげしさ。「戦争前夜」はそこまで来ているのかも知れません。</p> <p>こんな状況だからこそ、平和とは何なのか、対極にある戦争とは何なのかを、冷静に学ぶ必要があるでしょう。平和とはとても幅広い概念であり、多義的です。あなたの考える平和は、隣の人の考える平和とは違うかも知れません。平和が何なのかを語り合うためにも、まずは本を手にとってみてください。</p> <p>哲学的に考えるもよし、何か行動を起こす実践のために読むもよし。ここには身近な話題から国際関係を捉える視点に至るまで、幅広い文献を揃えてみました。さあ、一緒に平和をつくりましょう！</p>		
配架資料名	<p>【平和-1】 構造的暴力と平和 (中央大学現代政治学双書 12)</p> <p>【平和-2】 ガルトゥング平和学入門</p> <p>【平和-3】 平和を考えるための100冊+α</p> <p>【平和-4】 学生のためのピース・ノート</p> <p>【平和-5】 すべての戦争は自衛意識から始まる—「自分の国は血を流しても守れ」と叫ぶ人に訊きたい</p> <p>【平和-6】 戦争をなくすための平和学</p> <p>【平和-7】 平和の人類学</p> <p>【平和-8】 平和研究入門 (大阪大学新世紀レクチャー)</p> <p>【平和-9】 「積極的平和主義」は、紛争地になにをもたらすか?!—NGOからの警鐘</p> <p>【平和-10】 国際平和論</p> <p>【平和-11】 国際平和とは何か —人間の安全を脅かす平和秩序の逆説</p> <p>【平和-12】 18歳からわかる 平和と安全保障のえらび方</p> <p>【平和-13】 平和と安全保障を考える事典</p> <p>【平和-14】 日本人のための平和論</p> <p>【平和-15】 武器輸出大国ニッポンでいいのか</p> <p>【平和-16】 亡国の武器輸出</p> <p>【平和-17】 平和をめぐる14の論点</p> <p>【平和-18】 平和ってなんだろう</p> <p>【平和-19】 丸腰国家</p> <p>【平和-20】 広島発の平和学</p> <p>【平和-21】 平和学入門1</p> <p>【平和-22】 平和学入門2</p> <p>【平和-23】 国家安全保障の脱構築 安全保障を根本から考え直す</p>	<p>ヨハン・ガルトゥング</p> <p>ヨハン・ガルトゥング</p> <p>日本平和学会</p> <p>堀 芳枝 上村 英明ほか</p> <p>森 達也</p> <p>寺島 俊穂</p> <p>小田 博志 関 雄二</p> <p>木戸 衛一</p> <p>谷山 博史</p> <p>福富 満久</p> <p>吉川 元</p> <p>梶原 涉ほか</p> <p>広島市立大学 広島平和研究所</p> <p>ヨハン・ガルトゥング</p> <p>池内 了ほか</p> <p>池内 了ほか</p> <p>日本平和学会</p> <p>足立 力也</p> <p>足立 力也</p> <p>広島市立大学 広島平和研究所</p> <p>多賀 秀敏</p> <p>多賀 秀敏</p> <p>遠藤 誠治ほか</p>	<p>中央大学出版部</p> <p>法律文化社</p> <p>法律文化社</p> <p>御茶の水書房</p> <p>ダイヤモンド社</p> <p>法律文化社</p> <p>法律文化社</p> <p>大阪大学出版会</p> <p>合同出版</p> <p>岩波書店</p> <p>中央公論新社</p> <p>大月書店</p> <p>法律文化社</p> <p>ダイヤモンド社</p> <p>あけび書房</p> <p>合同出版</p> <p>法律文化社</p> <p>岩波書店</p> <p>扶桑社</p> <p>法律文化社</p> <p>勁草書房</p> <p>勁草書房</p> <p>法律文化社</p>

